

(様式3)

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回東村山ふるさと歴史館協議会				
開催日時	令和3年7月9日(金曜)午後3時30分～4時30分				
開催場所	東村山ふるさと歴史館 視聴覚室				
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 石田武久会長・大井芳文副会長・佐藤和枝委員・杉山俊也委員・ 石坂徳康委員・長嶺すみ江委員・木村茂光委員 (市事務局) 尾作整一ふるさと歴史館長・齋藤文彦庶務係長・鈴木貴之文化 財係長・長澤恵津子庶務係主任 ●欠席者：時田俊輔委員・野田敬子委員				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可 の場合は その理由		傍聴者 数	なし
会議次第	1 開会 2 事務局挨拶 3 東村山ふるさと歴史館協議会委員 自己紹介 4 報告事項 ・令和3年度ふるさと歴史館組織について ・令和3年度ふるさと歴史館運営方針について ・令和2年度ふるさと歴史館事業等報告について ・令和3年度ふるさと歴史館年間事業予定について 5 その他 ・ふるさと歴史館外壁等改修工事について 6 閉会				
問い合わせ先	教育部 ふるさと歴史館 庶務係 担当者名 齋藤・長澤 電話番号 042-396-3800 (直通)				
会 議 経 過					
1 開会 ○会長 これから令和3年度第1回東村山ふるさと歴史館協議会を始めます。 ○庶務係長 本日学校教育関係者の方で1名新任の委員の先生がいらっしゃいますので、ここで委嘱状の交付をさせていただきたいのですがよろしいでしょうか。  館長から佐藤委員へ東村山ふるさと歴史館協議会委員委嘱状の交付  ○庶務係長 本日の欠席委員のご報告をさせていただきます。野田委員が残念ながら本日所用で欠席と連絡いただきました。また時田先生がまだお見えになっておりませんのでご理解の程よろしくお願いいたします。続きまして傍聴者ですが、いないようですのでこのまま2番に進んでいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。					

## 2 事務局挨拶

- ・館長挨拶
- ・文化財係長・庶務係主任・庶務係長挨拶

## 3 東村山ふるさと歴史館協議会委員 自己紹介

## 4 報告事項

- ・令和3年度ふるさと歴史館組織について（資料1）

### ○庶務係長

ふるさと歴史館は東村山市教育委員会の一つ下にある組織で、ふるさと歴史館長は市役所という課長職になりまして、本年4月1日より尾作が館長になりました。係は令和2年度と同様庶務係と文化財係の二係になります。庶務係は係長以下2名、文化財係は係長以下8名でおこなって参ります。文化財係には遺跡調査会が付属し文化財の調査員が専門職としております。またこの協議会は歴史館長の諮問機関になり、皆様のご意見がふるさと歴史館の事業に反映できる形になりますのでどうぞ忌憚のないご意見を頂戴出来ればと思います。よろしくお願いたします。

- ・令和3年度ふるさと歴史館運営方針について（資料2）

### ○館長

令和3年度ふるさと歴史館運営方針は六つの大きな柱を設定しそれぞれに事業展開を図っていきたくて思っております。まず一つ目は下宅部遺跡のPR、啓発、活用、保存です。国の重要文化財に指定されました下宅部遺跡出土品をはじめ様々な遺跡という形で広く市の内外の方に知っていただくために、秋口に特別企画展や公民館でシンポジウムを開催する予定です。また当該遺跡に関する記念切手を作成して販売していくとともに、SNSを活用しながら更なるPR活動をしていきたくて思っております。文化的財産を丁寧に保存しながら活用に向けておこなっていきたくて思っております。

二つ目ふるさと歴史館および八国山たいけんの里の充実です。ふるさと歴史館では常設展示室をはじめ館内ロビーでのミニ企画展示や年4回の特別企画展を実施します。実はこういう事情ですので今やっている春の展示を8月22日まで開催し、夏の展示はやむを得ず中止とさせていただきます。特別企画展を充実させるとともに、機織講座や古文書講座など引き続き実施することにより生涯学習の場を提供していきたくて思っております。また八国山たいけんの里では下宅部の出土品の展示活用をさらにおこなって参りたいと思っております。また各種体験事業の充実を図ることも施設の利用向上につながると考えております。

三つ目学校教育との連携です。社会科見学や出前授業、職場体験等の実施を予定しております。ただしこのような状況ですので、感染拡大防止の観点から小学校中学校とは密に連携をとりながら、その中でも出来る授業を模索しながらやっていきたくて思っております。

四つ目市民パートナーシップの推進ということで、郷土研究団体等の各団体とのつながりを密にさせていただいてご支援をしていきたくて思っております。多くのボランティアを抱えておりますので一層の連携を深めながらボランティアさんの高齢化といひますか後の人材の確保継承をしっかりとできるようにしていきたくて思っております。

五つ目収集・調査、整理・保存です。文化財等が多くございますので、記録を丁寧にとるとか整理をしていくとか後々の将来に残していくために動いて参りたいと思っております。また今年度先程の下宅部遺跡出土品に関しましては杭5本の保存処理を実施しております。後々18本の杭の保存処理をして参りたいと思っております。これは来年度予算等々につなげていきたくて思っております。

最後に六つ目施設の適正な維持・管理及び広報活動の強化です。後程、工事の説明をさせていただきますが、現在雨漏り等が発生している状況で、そのことも含めまして来館者の皆

様に快適な利用向上が図れるように維持管理して参りたいと考えております。広報活動に関しましても一味違ったような形で皆様に興味を抱いていただくような環境を整えて引き続きPR動画のような形をおこなって参りたいと考えております。いずれにしても施設の適正な維持管理をしながら広く周知をさせていただいて文化財等活用していくとそのような形で私ども考えておりますので、こちらに関してもご意見等あれば後程お伺い出来ればと思っております。

・令和2年度ふるさと歴史館事業等報告について（資料3・4）

○文化財係長

資料3について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため最初の4月から5月いっぱいまで臨時休館でした。4月7日から5月25日まで緊急事態宣言が出ていた関係で、再開後ソーシャルディスタンスや三密対策ということで事業内容に大きな見直しが入り、席は一席空けソーシャルディスタンスを取るような形にし、大人の機織体験のような道具を共有するものや郷土食のうどんやゆでまんじゅうを作って食べるというような事業に関しては中止という形をとらせていただきました。企画展は春の「端午の節供」は休館していたため中止としました。夏は「写真でふりかえる東村山の出来事」を開催。9月に池田宗弘先生の展示を公民館と連携して実施し、公民館では彫刻、歴史館では幼少期に過ごした東村山の風景や生活を描いた絵画を展示しました。10月からは国の重要文化財指定記念特別展「下宅部遺跡展 縄文人の技」を第1会場ふるさと歴史館、第2会場八国山たいけんの里で開催。1月からの社会科見学対応展示はこの会で提案いただいてタイトルを「むかしの暮らしと道具」に変更しました。本来は子どもに触ってもらう展示でしたが、第2回緊急事態宣言が出たため密にならないように展示の部屋を増やし感染に気を付けておこないました。事業は人数を二分の一にして事前予約で対応しました。八国山たいけんの里については6月の事業は中止としましたが、その後は人数を制限しておこないました。

資料4について、臨時休館していたことを除いても来館者が少なく、休校となっていたため子どもの授業が増えて来館が少なくなったとかコロナで人の動きが少なくなったからではと考えられます。

○会長

人数は減っていますが、これだけ来ていれば良いと思います。

○庶務係長

都内のイベントが減っているためか身近なイベントに来るようになったと思います。「変わりゆく東村山を撮る」という写真のイベントも前は3名でしたが2年度はすぐ定員になりました。人数制限していることもありますが、他のイベントも申込初日でほぼ埋まってしまいう状況です。

・令和3年度ふるさと歴史館年間事業予定について（資料5）

○文化財係長

まず企画展ですが、第3回目の緊急事態宣言をうけて臨時休館となっていたので、春の企画展の開始が6月2日となり、8月22日まで会期を延長することにしました。その代わりふだん夏におこなっていた「夏休みの自由研究のタネ」、小学校の自由研究のヒントとして東村山を知ってもらう展示は今年は中止にしました。今後の予定としては、昨年を引き続き、下宅部遺跡の重要文化財指定を記念して「下宅部遺跡展 縄文人の技Ⅱ」を、また冬は小学校社会科見学対応展示として、むかしの暮らし、明治時代と高度経済成長期の暮らしを再現する予定です。

事業については、3月にゆでまんじゅうをやりたいとは思っていますが食事関係は難しいと思います。それ以外は前回やれなかった古文書講座も含めてかなり実施しておりまして、ソーシャルディスタンスをとると人数は少なくなりますが今年はバス見学もいくつか回り

たいと思っております。現在また次の緊急事態宣言に入っていますが、ソーシャルディスタンス、三密に気を付けて感染対策をして可能な限りそのまま実施しようと考えております。

八国山たいけんの里では、去年出来なかった子ども縄文塾を今年は少しやり方を変えて子ども向けにそれぞれ独立した講座で8月に3回おこなえればと思っております。コラボ講座・自然観察会も5月は中止となりましたがそれ以外は予定通りおこないたいと思います。イベントは募集するとすぐにいっぱいになり、かなり人気が出ています。5月の連休イベントに関しては閉館中でした。考古体験は8月7日の親子縄文土器教室は道具その他の共有や作り方をしっかり教えないと焼き上がった時もないということもありまして、子どもはちょっと難しいので、2月の大人の縄文土器教室と縄文時代の技術を使ったかごづくりは是非実施したいと思っておりますが、感染状況により体験はなかなか難しい面があると思います。考古学講座は東村山で地名が一番古い久米川について今年はやりたいと思っております。文化財ウィークの「はっけんのもりへようこそ！2021」は先程の下宅部遺跡展と一緒に今公園になっている発掘場所の見学も含めた計画でおこないたいと思います。コロナにより状況がどうなるかわかりませんが今年の予定としてはこういうことを考えております。

○庶務係長

各種イベントについては、今までの定員の50%という国の緊急事態宣言の基準でおこなっています。ふるさと歴史館で人気の考古学講演会は視聴覚室で今までは定員100人でおこなっていましたが現状は50人、20人だったものは10人ということで設定させていただいております。

○会長

どなたか何かご意見ありますか。

○A委員

自然観察会で8月は夜の自然観察八国山となっていますがどんなことをするのですか。

○文化財係長

昆虫ですね。カブトムシが見られればラッキーですがカナブンくらいなら確実に見られます。

○会長

他に意見ないですか。

○B委員

最近郵便局の前の一帯が再開発されていて、数年前は立川さんのお宅がなくなって今新築になっていますが、そういう代替わりみたいな形でお宅が替わるような昔からのものがなくなることについてのフォローはしているのでしょうか。そういうことは歴史館なのか文化財保護のほうなのかかわかりませんが、そういう対応は取られているのでしょうか。お聞きしたいんですが。

○文化財係長

文化財保護審議会があります。なかなか建て替えの情報は入ってこないで、事前にこちらからアプローチするのは難しい現状です。あくまで持ち主の方のご好意で、蔵等の整備とか古い物があるということはかなり受けております。

○会長

昔民家が焼けたでしょ。最近、10年位前まで多摩湖町に民家が一つだけ残っていたんですよ。そこが良いから買い取ってほしいと市に依頼したんですが駄目でした。昔の民家がどこにもないそういう状況です。

○B委員

資料ネットという全国にある被災地、災害が起きた時に資料を救出するネットに関わっているんですが、災害の時に無くなるのは仕方ないんですが、代替わりというか古い歴史とか家の歴史とかに関心のある方々が若い人に代わって新しく家に行ったら民具も何も無くな

ってしまったという話をよく聞くんですよね。何かあった時にお願いしますというのも変な話ですが、例えばちょっと古い民具とかあればご連絡くださいと市報に掲載するだけでも何件かは救えるかなと思います。

○会長

昔の最初の洗濯機とかも今ないですよ。あれだって大事だと思う。今ここにありますよね。

○B委員

例えば昭和戦後まもなく使っていたものはなくなってしまうので、お忙しいとは思いますが何か文化財保護と委員会と上手くタイアップしながら少しフォローして集めていただくとありがたいなと思います。

○会長

そういうものがあったら意見を出したほうがいいですね。教育委員会にあげてそういうものがあたら意見として皆さん方出してください。

○C委員

文化財の説明板がだいぶ古くなってきて薄くて読めなくなっています。例えば10年計画くらいで今年はどこどこいくつか作るというようなものが市としてあるのかなと内心思います。計画的にやらないとせつかく市の文化財としてある良いものが新しい世代に伝わっていかないと思います。昔、大踏切の所で東山道武蔵路の発掘がされ説明板を作っていたきたいと郷土研究会と他の団体と三つの団体でお願いして出来るまで3年くらいかかりました。当時の教育部長さんが鎌倉古街道も1年でもう一つ追加して作ってくださって、その時はすごくうれしかったんですけど、毎年毎年風雨にさらされて10年20年経つと見えなくなります。是非長期的な期間でいくつかずつでいいので作っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○文化財係長

今のところ年間1、2個しか実施出来ていない状況です。古いものが読めなくなってしまうのと人目につかない所がいたずらで折られてしまうことがあり、改修のペースが間に合っていないんですが何とか頑張っていきたいと思います。古民家の関係で去年の10月に廻田で蔵からかなり物をいただいたり、1月に恩多で納屋を整理するというのでいくつか貴重な物をいただいております。それ以外にも洗濯機とか民具のご相談を受けておまして、噂で古い家の事とかもし情報があれば歴史館にご連絡いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○D委員

八国山緑地が広域避難場所になっている関係で防災トイレだったり防災施設が充実していきまして、前々から八国山たいけんの里さんとは防災イベントで一緒させていただいたりという経緯もありますが、コロナ禍でこのご時世なかなか難しいことでもあります。今年度から来年度辺りに防災訓練が一緒に出来たらと考えています。

## 5 その他

### ・ふるさと歴史館外壁等改修工事について

○館長

外壁等改修工事ということでご報告させていただきます。現在特別展示室・機械室・ロビーの天井等から雨漏りが発生しており、施設の外壁を含めて防水工事をおこなうこととなりました。既に契約されていますが令和3年6月11日から令和4年1月28日という契約工期でそれらの工事を実施することにしております。事業者はイズミ・コンストラクションという公民館の外壁防水工事を昨年度おこなっている事業者と伺っております。既に都営住宅の自治会にお知らせ等ポスティングをさせていただいたり沿道近いところはお会いしてお話をしてお知らせをしている状況です。近々に当館裏手、北側線路のほうの私共の敷地内に現場事務所が設置される予定です。また順次外壁等の工事で外周に足場等の工事がいよいよ

着手される予定です。施設は休館せず開館しながら工事をおこないます。また前面道路は化成小や二中の通学路となっており往來がありますので、請負業者と十分連携を図りながら注意していこうと考えております。工事を一括して担当する市の営繕課と事業者と私共歴史館と三者で連携をとりながら安全に配慮して工事を終わらせたいと思いますので、来年の1月28日頃までのことですがご了承とご理解をいただければと思います。

○庶務係長

ふるさと歴史館に着任して今年で4年目になりますが、この雨漏り等を解消するという工事の契約をするまでに足掛け3年かかりました。先程説明板を作るのに3年とおっしゃいましたが、私共も頑張っても3年でした。何とか予算を獲得して契約にこぎつけまして、コロナということで職人さんも色々大変みたいですが一生懸命頑張って誠心誠意綺麗な歴史館にしますという心強いお言葉をいただいておりますので、1月以降小学校3年生を連れて社会科見学に来ていただく時には多少足場や工事の残りがあるとは思いますが、おそらく今日来た時よりも外壁とかは綺麗になっていると思いますので楽しみにしていただきたいと思ひます。25年経ち、まずは建物本体をその次に空調や照明等色々計画し順番を考えながら設備を綺麗にして、東村山の文化財に関わる人たちがここを拠点により郷土愛を持っていただくために我々としては設備の充実を図っていきたく思っておりますので、皆様方どうぞお力添えをよろしくお願ひしたいと思ひます。

6 閉会

○会長

これで終わりにします。ごくろうさまでした。有難うございました。